

簡単操作ガイド

～ イメージクリエイト DBL ～

ACCESS データ(文字、画像、バーコード)を差込設定する手順

対象ソフト : イメージクリエイト DBL

概要

イメージクリエイト DBL で、ACCESS データ（文字、画像、バーコード）を差し込みする手順とトラブル対処方法をご説明します。

目次

- イメージクリエイトDBLで、ACCESSデータを差し込みする手順
 - ACCESS（MDBファイル）で各レコードに画像を保存する …… 2
 - ACCESS（MDBファイル）を差し込み指定する …… 5
 - 文字・画像・バーコードを貼り付ける …… 7
 - 差し込みデータの加工機能（マクロ指定） …… 11
 - 画像が正常に表示されないときは …… 14

■ イメージクリエイト DBL で ACCESS データを差し込みする手順

操作方法と画面のイメージは、ソフトウェア：イメージクリエイト DBL Ver2.1 / Microsoft Access2002、OS：Windows XP を例にしています。

● 操作前の注意事項

- イメージクリエイト DBL / Microsoft Access をインストールする必要があります。
- ハードウェアスペック等にもよりますが、動作確認のとれているデータベースの件数は 3000 件です。ただし、メモリやリソースを大量に使用するため件数に応じて処理速度が著しく低下し、正常に動作しない場合もあります。大型のデータベースファイルを差し込む場合には、あらかじめ適当な件数にファイルを分割し作業されることをおすすめします。
- ACCESS の MDB ファイルは、フィールド名を全角 15 文字（31 バイト）以内、フィールド数は 63 フィールド以内で作成してください。
- Windows XP/Vista/7 環境で office2003/2000 を使用されている場合は、Microsoft から提供されている“データ接続コンポーネント”をインストールする必要があります。

以下のサイトよりダウンロードしてインストールしてください。

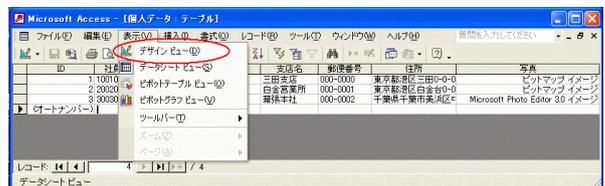
▼2007 Office system ドライバ：データ接続コンポーネント

<http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?FamilyID=7554f536-8c28-4598-9b72-ef94e038c891&DisplayLang=ja>

● Access (MDB ファイル) で各レコードに画像を保存する方法

Microsoft Access2002 にて、各レコードに画像を保存するための操作をご案内しています。ACCESS (MDB ファイル) 作成の詳細な使い方については、ソフトメーカーへご確認ください。

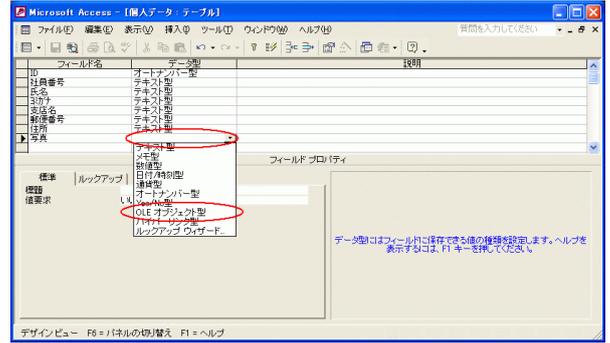
1. [表示]メニューをクリックし、[デザインビュー]を選択します。



2. ◆ データ型を OLE オブジェクト型にします

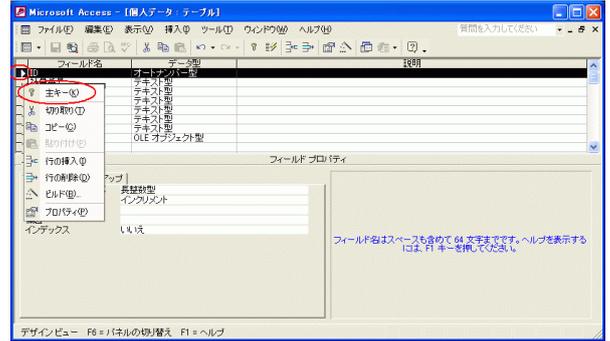
デザインビュー画面が表示されます。
 画像を保存したいフィールドのデータ型欄を右クリックし、「OLE オブジェクト型」を選択します。

※ここでは、フィールド名：写真のデータ型を「OLE オブジェクト型」に設定しました。

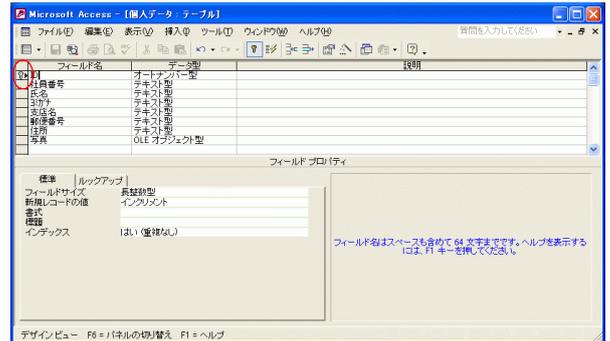


3. ◆ 主キーの設定をします

主キーを設定するフィールドを右クリックし、[主キー]を選択します。



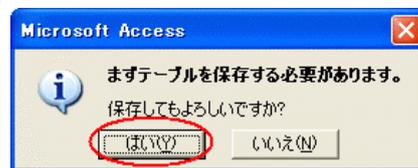
4. 設定したフィールド名の左側に鍵マークが表示されます。



5. ◆ 画像を指定/保存します

[表示]メニューをクリックし、[データシートビュー]を選択します。

6. メッセージが表示されます。
 [はい]ボタンをクリックします。



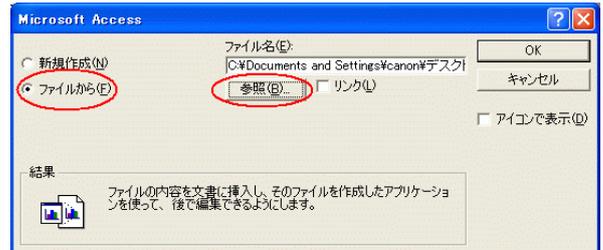
7. データシートビュー画面に切り替わります。

画像を保存したいレコードのフィールドを右クリックし、「オブジェクトの挿入」を選択します。



8. ファイルを選択する画面が表示されます。

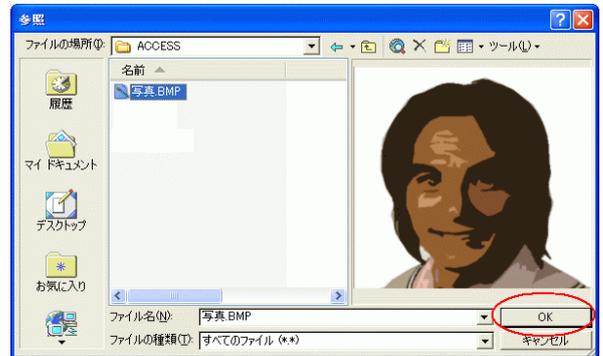
[ファイルから]をチェックし、[参照]ボタンをクリックします。



9. 参照画面が表示されます。

設定したい画像ファイルを選択し、[OK]ボタンをクリックします。

※ここでは、ACCESS フォルダ内の「写真.BMP」を選択しました。



10. 右図のように表記されます。

- BMP 形式
→ビットマップイメージ
- JPG 形式
→Microsoft Photo Editor 3.0 イメージ

※環境により表記は異なる場合があります。



11. 画像を保存する全てのフィールドで、「7.」以降を繰り返し行なってください。

以上で、ACCESS (MDB ファイル) で各レコードに画像を保存する作業は完了です。

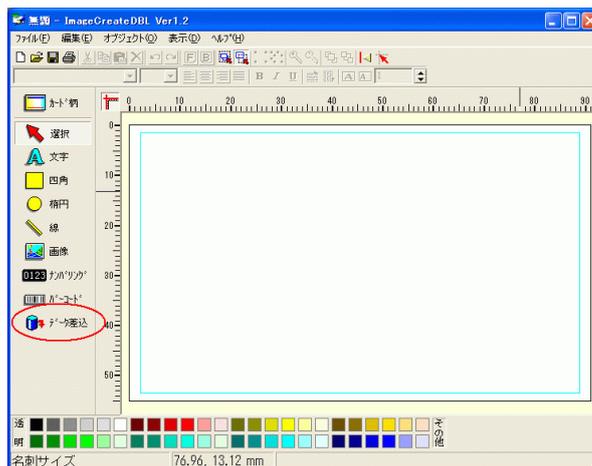
● Access (MDB ファイル) を差し込み指定する方法

作成した ACCESS (MDB ファイル) のデータベースを、イメージクリエイト DBL で差し込み指定します。

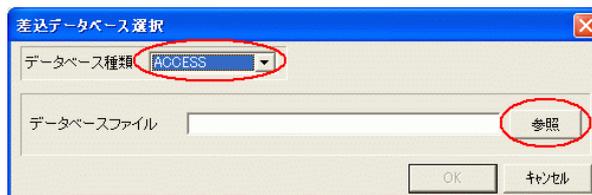
※ここでは例とし ACCESS (MDB ファイル) の保存先、ファイル名は以下にしました。フォルダ名 : ACCESS、ファイル名 : 社員証サンプルデータ.mdb 、テーブル名 : 個人データ

1. オブジェクトツールバーの[データ差込]ボタンをクリックします。

あるいは、[オブジェクト]メニューの[差込]を選択します。

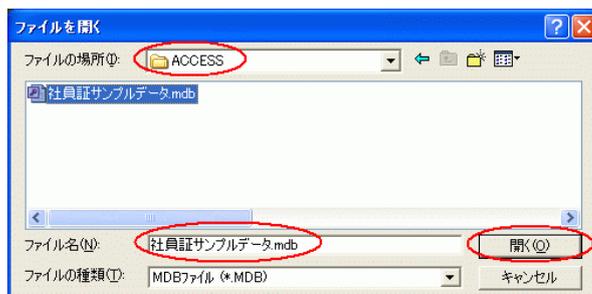


2. 「差込データベース選択」が表示されます。
ここでは、データベース種類は「ACCESS」を選択し、[参照]ボタンをクリックします。



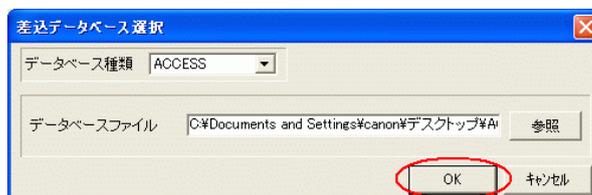
3. 「ファイルを開く」が表示されます。

ファイルの場所 : ACCESS フォルダ
ファイル名 : 社員証サンプルデータ.mdb
を選択し、[開く]ボタンをクリックします。



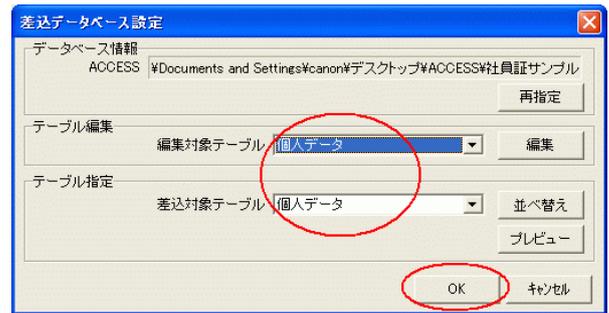
4. 「差込データベース選択」が表示されます。

[OK]ボタンをクリックします。



5. 「差込データベース設定」が表示されます。

- ・ 編集対象テーブル : 個人データ
 - ・ 差込対象テーブル : 個人データ
- を選択し[OK]ボタンをクリックします。



以上で、イメージクリエイイト DBL で Access (MDB ファイル) を差し込み指定する作業は完了です。

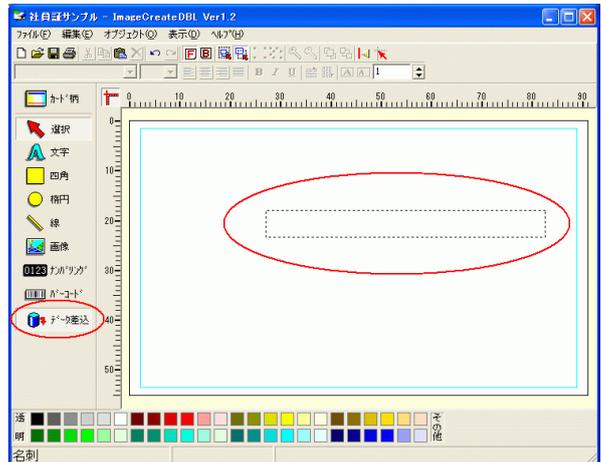
● 文字・画像・バーコードを貼り付ける

差し込み指定をした ACCESS (MDB ファイル) のさまざまな形式 (文字・画像・バーコード) のデータを貼り付けます。

◆ 氏名の差し込みを行います

1. オブジェクトツールバーの [データ差込] ボタンをクリックします。

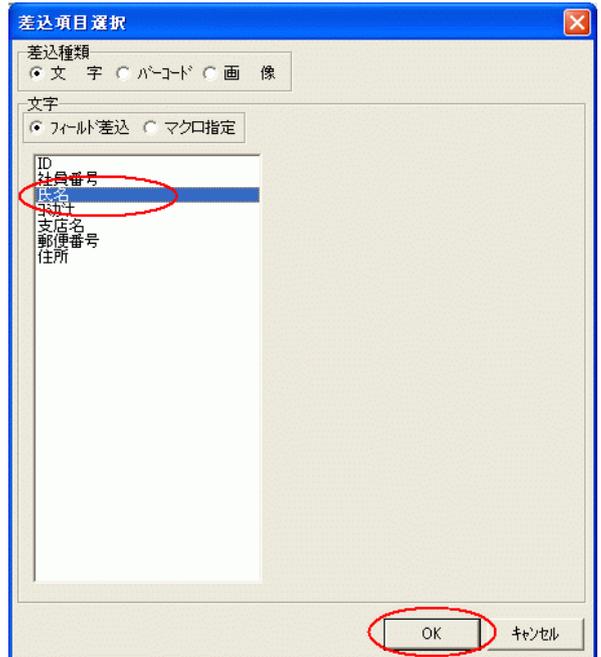
用紙上で任意の位置 (氏名を差し込みたい位置) に、マウスをドラッグしながら枠空けを行います。



2. [差込項目選択]が表示されます。

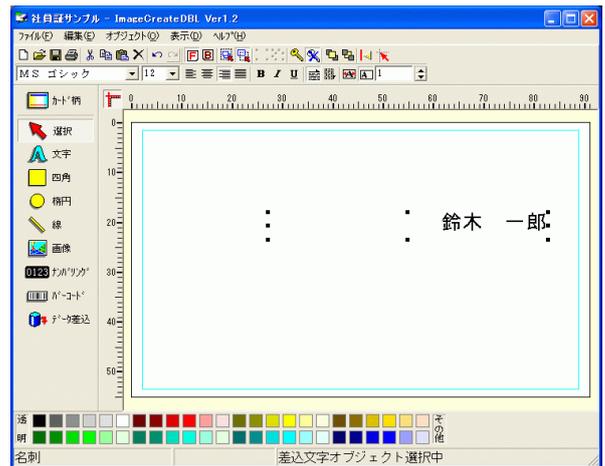
左枠に、選択したデータベースの対象となる項目が表示されます。

差込したい項目 (今回は氏名) を選択し、[OK] ボタンをクリックします。



3. レイアウト画面に戻ります。

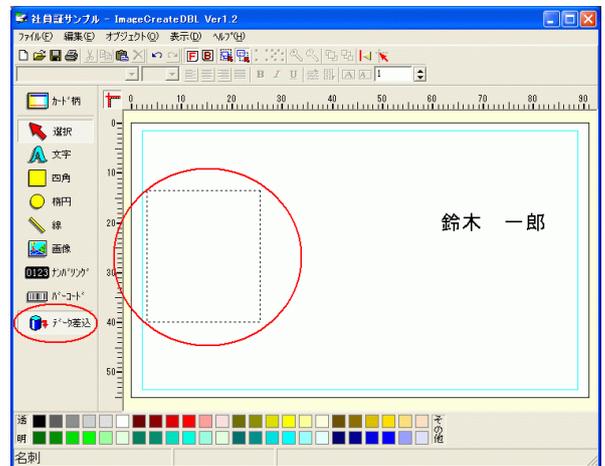
指定した範囲に 1 件目の氏名データが貼り付きます。



◆ 画像 (顔写真など) の差し込みを行います

1. オブジェクトツールバーの [データ差込] ボタンをクリックします。

用紙上で任意の位置 (画像を差し込みたい位置) に、マウスをドラッグしながら枠空けを行います。

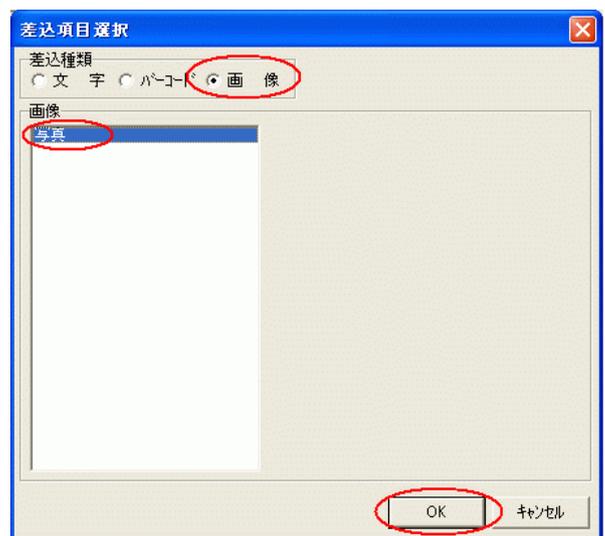


2. [差込項目選択]が表示されます。

差込種類の「画像」を選択します。

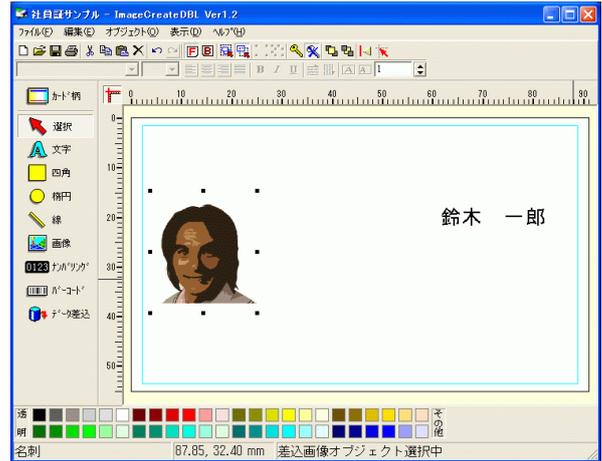
左枠に選択したデータベースの画像に該当する項目が表示されます。

差込したい項目 (今回は写真) を選択し、[OK] ボタンをクリックします。



3. レイアウト画面に戻ります。

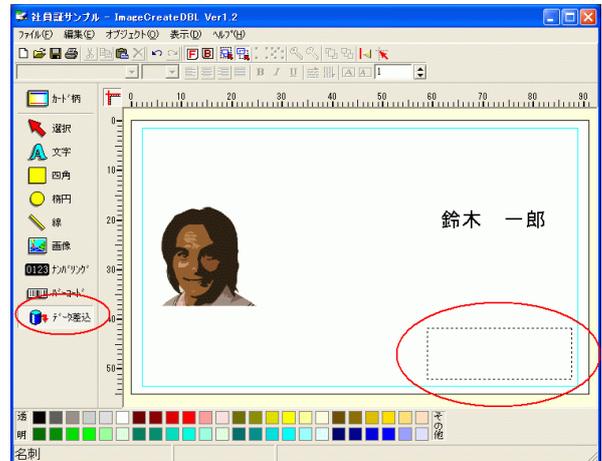
指定した範囲に 1 件目の画像データが貼り付き
ます。



◆ バーコードの差し込みを行います

1. オブジェクトツールバーの [データ差込] ボタンをクリ
ックします。

用紙上で任意の位置（バーコードを差し込みたい
位置）に、マウスをドラッグしながら枠空けを行いま
す。



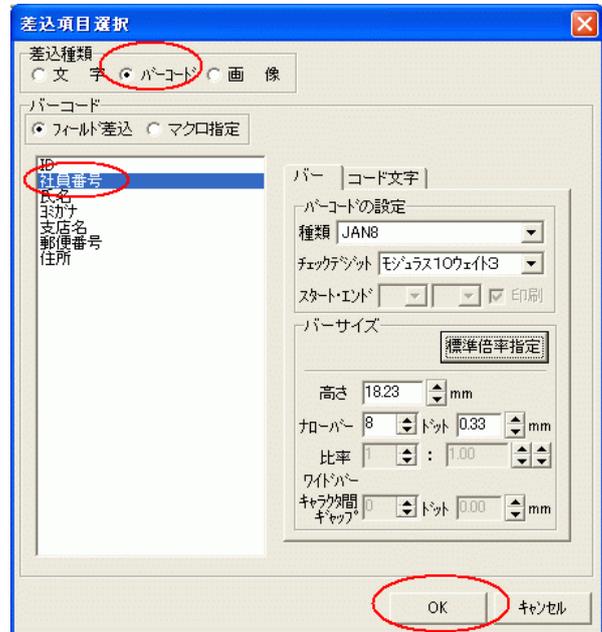
2. [差込項目選択]が表示されます。
差込種類の「バーコード」を選択します。

左枠に、選択したデータベースの対象となる項目が
表示されます。

バーコードに変換する項目（今回は社員番号）を
選択します。

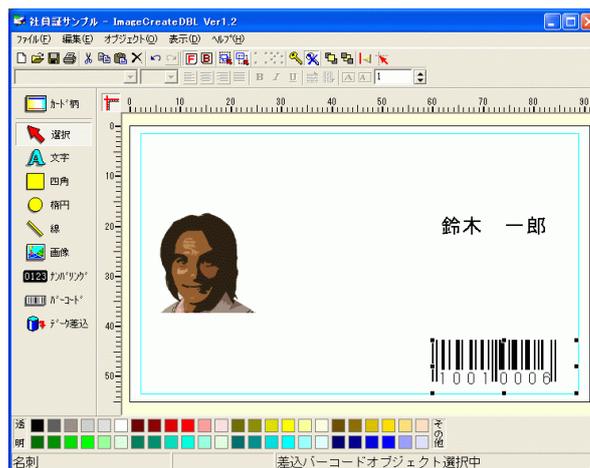
バーコードの種類を選択し、[OK]ボタンをクリックしま
す。

※ここでは、バーコードの種類 : JAN8 を選択しま
した。



3. レイアウト画面に戻ります。

指定した範囲に 1 件目のバーコードデータが貼り付
きます。



以上で、文字・画像・バーコードを差し込みする作業は完了です。

● 差し込みデータ (貼り付けたデータ) の加工機能 (マクロ指定)

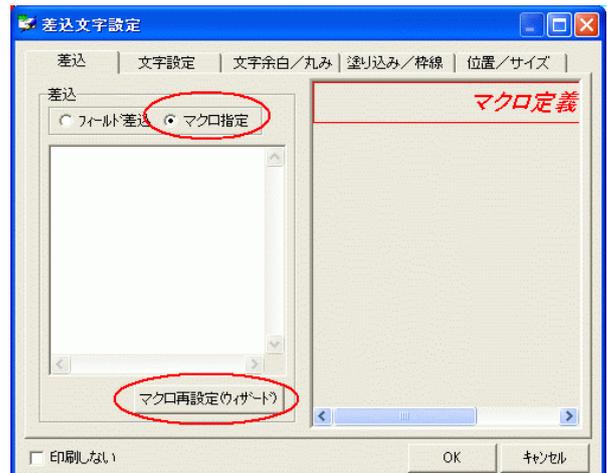
差し込みしたデータ (貼り付けたデータ) を加工します。

マクロ指定をすると、氏名の後ろに「様」などの敬称を付加するというように前後に文字を付加したり、住所 1・住所 2 と分割されているフィールドを連結させたりすることができます。

下記では、差し込みした氏名の前に「氏 名 : 」を付加する操作を説明しています。

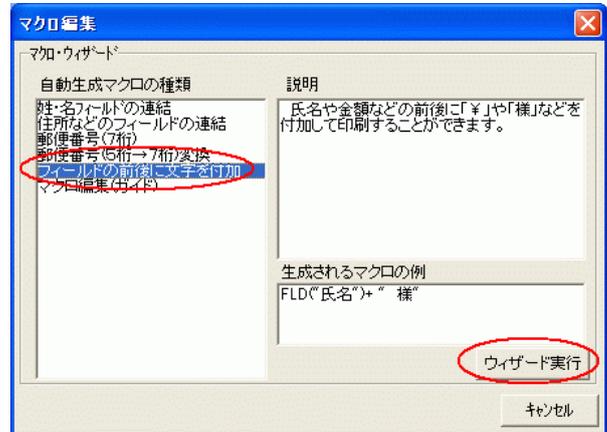
1. 差し込みした氏名オブジェクトを選択します。右クリックし、「編集」を選択します。
2. 「差込文字設定」画面が表示されます。

差込の「マクロ指定」を選択し、[マクロ再設定 (ウィザード)] ボタンをクリックします。



3. 「マクロ編集」画面が表示されます。

自動生成マクロの種類から「フィールドの前後に文字を付加」を選択し、[ウィザード実行] ボタンをクリックします。

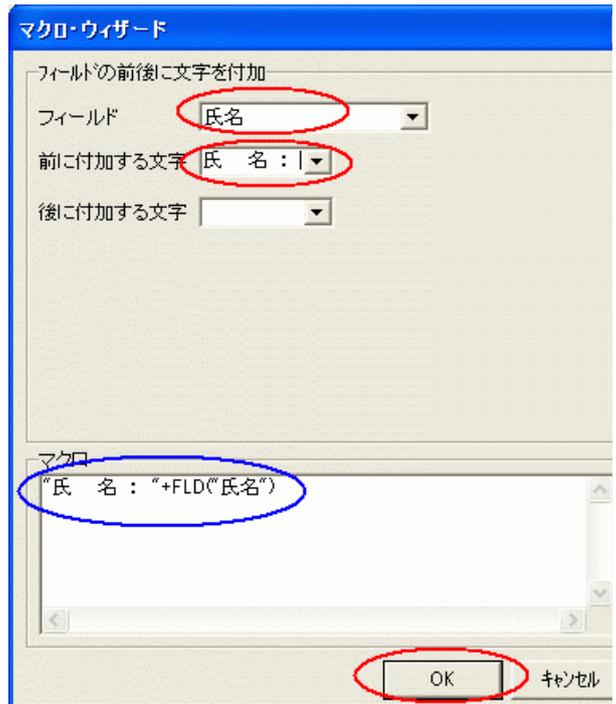


4. 「マクロ・ウィザード」画面が表示されます。

- ・ フィールド : 氏名
- ・ 前に付加する文字 : 「氏 名 : 」

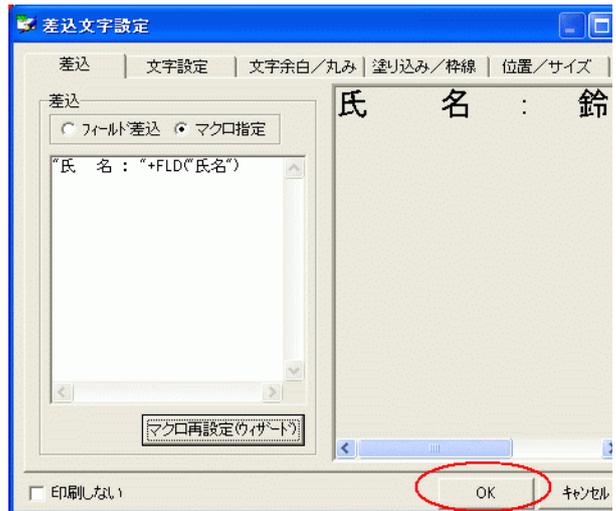
[OK]ボタンをクリックします。

マクロ欄に「氏 名 : "+FLD("氏名") 」と表示されていることを確認ください。



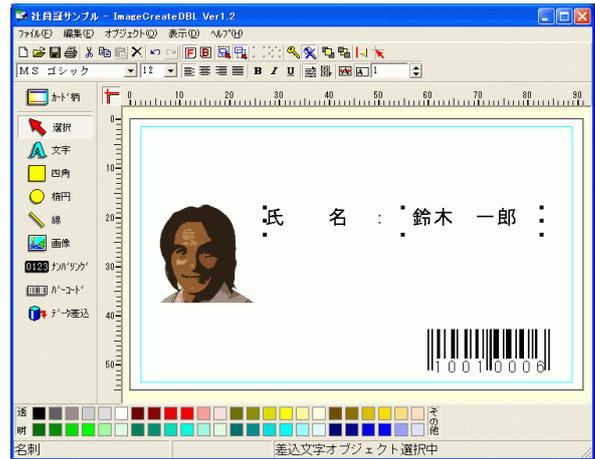
5. 「差込文字設定」画面に戻ります。

[OK]ボタンをクリックします。



6. レイアウト画面に戻ります。

指定した氏名データの先頭に「氏名：」が付加されます。



7. 加工（マクロ指定）したいフィールドで繰り返し設定を行なってください。

右図が、社員証の完成です。



以上で、差し込みデータ（貼り付けたデータ）を加工機能（マクロ指定）する作業は完了です。

※マクロ指定の詳細は、「イメージクリエイト DBL ユーザーズガイド P.56～【 差込データの加工機能 】を確認ください。

● 画像が正常に表示されないときは

差し込んだ画像が真っ黒になって表示されてしまう、差し込み枠のみで画像が表示されない場合は、以下の対処方法を確認ください。

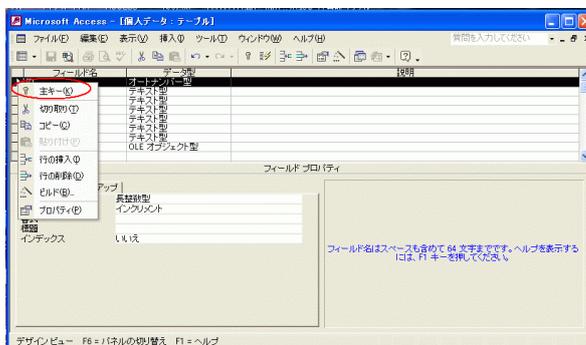
◆ ACCESS (MDB ファイル) に主キーの設定はしていますか？

1. ACCESS (MDB ファイル) を開きます。

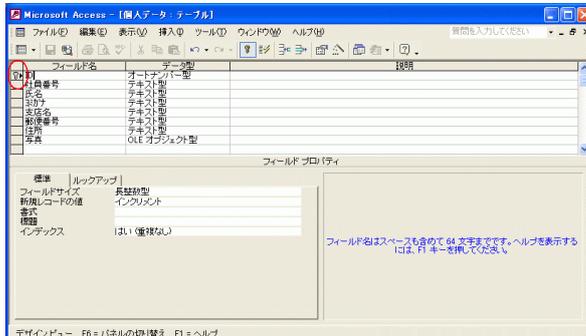
[表示]メニューをクリックし、[デザインビュー]を選択します。



2. 主キーを設定するフィールドを右クリックし、[主キー]を選択します。



3. 設定したフィールド名の左側に鍵マークが表示されます。



◆ ODBC 及び Borland Database Engine のキャッシュを増やしてください

1. [スタート]→[コントロールパネル]を選択します。
2. 「コントロールパネル」が表示されます。

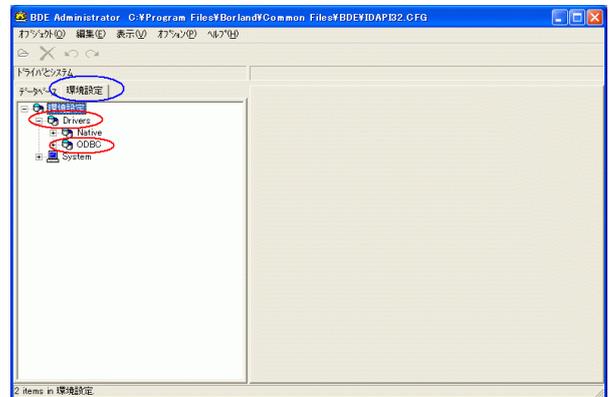
[BDE Administrator]をダブルクリックします。



3. 「BDE Administrator」画面が表示されます。

左側ツリー画面で[環境設定]タブを選択します。

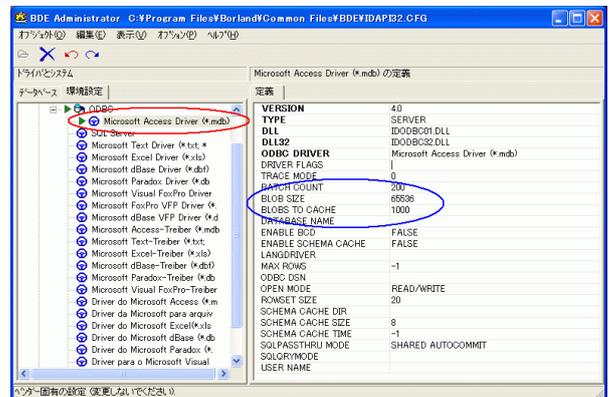
[Drivers]→[ODBC]の順でダブルクリックします。



4. 「Microsoft Access Driver(*.mdb)」をクリックします。

右側の定義部分の以下の箇所を変更します。

- BLOB SIZE : 65536
- BLOBS TO CACHE : 1000



※ 数値入力後は、必ず ENTER キーを押してください。

※ 「BLOB SIZE」の項目が表示されていない場合は、「BLOBS TO CACHE」を「1000」に変更・保存後に再度「BDE Administrator」を開くと「BLOB SIZE」が表示されます。

5. [オブジェクト]メニューをクリックし、[終了]を選択します。あるいは、画面右上の「×」マークをクリックし、終了します。

6. 警告が表示されます。



[はい]ボタンをクリックします。

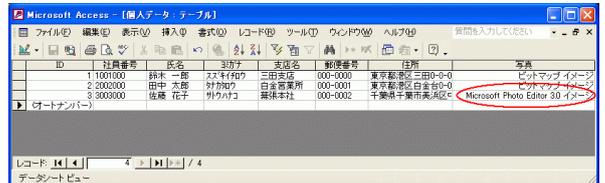
◆ JPEG 形式の画像を指定している場合は以下を確認ください。

JPEG 形式の画像を使用する場合は、ACCESS 側で JPEG 形式のファイルを取り込みするための設定が必要です。

1. JPEG 形式のファイルを使用できる OLE サーバーの機能を持ったアプリケーションのインストールが必要になります。

※J OLE サーバーの機能を持つアプリケーションには、Microsoft Photo Editor などがあります。

2. Microsoft Photo Editor がインストールされている場合は、左図のように「Microsoft Photo Editor X.X イメージ」と表記されます。



※「パッケージ」など表記がされている場合は、必要なアプリケーションのインストールがされています。

詳しくは、Microsoft のホームページを参照ください。

▼[ACC2002]フォームのオブジェクトフレームコントロールで JPEG ファイルがアイコン状態で表示

<http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;ja;411755>

▼Office 2003 または Office 2007 をインストールすると Photo Editor が削除される

<http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;ja;817095>

◆ Access データベースの接続条件をご確認ください。

【OS: Windows Vista, Windows 7】

Microsoft Officeのバージョン		Office2007			Office2003 (SP3)	
ファイルの保存形式		2007形式	2002-2003形式	2000形式	2002-2003形式	2000形式
ImageCreateDBL (V2.x)	ACCESS(画像有り)	○	○	○	△	△
	Excel	○	○	○	○	○

【OS: Windows XP (SP3)】

Microsoft Officeのバージョン		Office2007			Office2003/2000	
ファイルの保存形式		2007形式	2002-2003形式	2000形式	2002-2003形式	2000形式
ImageCreateDBL (V2.x)	ACCESS(画像有り)	○	○	○	△	△
	Excel	○	○	○	○	○
ImageCreateDBL (V1.5)	ACCESS(画像有り)	—	○	○	○	○
	Excel	—	○	○	○	○

※△印の箇所は、Microsoft から提供されている“データ接続コンポーネント”をインストールすることにより接続可能となります。

※— : Office2007 形式のファイルは“2002-2003 形式”に変換して接続してください

▼2007 Office system ドライバ: データ接続コンポーネント

<http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?FamilyID=7554f536-8c28-4598-9b72-ef94e038c891&DisplayLang=ja>

以上が、画像が正常に表示されないときの対処方法です。

お客様相談センター**全国共通電話番号****050-555-90064**

受付時間 [平日] 9:00～17:00

(土・日・祝祭日と年末年始、弊社休業日は休ませて頂きます)

お問い合わせの前に

- 海外からご利用の方、または 050 からはじまる IP 電話番号をご利用いただけない方は 042-460-9561 をご利用ください。
- 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

簡単操作ガイド**ACCESS データ (文字・画像・バーコード) を差し込みする手順**

履歴 : 2012 年 8 月版

制作/著作 : キヤノンマーケティングジャパン株式会社